

【アントレプレナーシップ学環】令和8年度 FD 活動の「年間計画」

1. 今年度の重点テーマ・目的・期待する効果等についてお書きください。

(1) テーマ：

教育成果の可視化を起点とした学環価値の好循環形成

(2) 目 的：

学環教員が共通の教育観、授業運営力及び評価力を獲得するとともに、教育成果の可視化に向けた基盤を整える。今年度は、主要授業科目を中心に、授業方法、学修支援及び成果把握の方法を共有し、学環生本位の教育へとつなげることを目的に、以下の事項に取り組む。

1. 学環の教育目的・学生像・授業運営方針を共有する。
2. 主要授業科目において、到達目標・授業方法・評価方法の整合を高める。
3. 学環生の特性や成長プロセスを踏まえた指導・支援方法を教員間で検討する。
4. 学修成果・教育成果の把握方法を主要授業科目で試行し、アセスメントプランの適切性を確認する。

(3) 期待する効果：

本学環の教学マネジメントの実質化に向け、学環生の成長や教育の特色を、組織的に把握・検証する基盤が整う。さらに、得られた学修・教育成果を適切に可視化し、情報発信することにより、高校、社会及び産業界からの共感・信頼の醸成につながる。

その結果として、本学環の理念や教育内容に適合する学生の継続的な確保、広域からの志願者獲得、並びに本学環及び京都産業大学のプレゼンス向上へとつながる好循環の形成が期待される。

2. 公開授業等について

公開授業やワークショップは、教員間で教授法を学び合う機会、学部のカリキュラム改善等について検討する機会として年1回以上設定・実施してください。

なお、実施にあたっては、出席者の記録をお願いいたします。出席者記録の提出は不要ですが、年間報告書にて、出席人数の記載をお願いいたします。

なお、出席者記録は、提出をお願いする場合がありますので、保管しておいてください。

(1) 公開授業・ワークショップ：

※公開授業と公開授業に関するワークショップが対象

【公開授業】

- 7月14日（火）1限目「科学技術と未来社会」、同2限目「基礎演習Ⅰ」
- 実施場所：4号館4F「Innovation HUB」

【ワークショップ】

- 学環の教育目的・学生像・授業運営方針を教員間で共有するとともに、主要授業科目における到達目標、授業方法及び評価方法の整合について確認する。
- あわせて、学環生の特性や成長プロセスを踏まえた指導・支援方法並びに学修成果・教育成果の把握方法について検討し、アセスメントプランの適切性の確認につなげる。
- ワークショップは、公開授業とは別に実施する。

【その他研修会等】

- 本学環の教育は、高等教育に求められる事項や教育の質保証を重視するとともに、社会・産業界からの要請を踏まえ、不断の改善につなげていくことを重視する。このため、文教政策の動向について教員間で確認する機会を設けるとともに、以下の独自研修会を実施する。
 - ① 学環外部評価者（フロンティアフェロー）との意見交換会
 - ② 高校教員との意見交換会

※この内容は本学における FD 活動の一環として、本学 HP に掲載します。